

主な出来事

【内政】

- 与党BDP, 1月に予備選
- 電子投票法改正, 監査証跡紙を導入

【外政】

- ボツワナ, 北朝鮮による大陸間弾道ミサイル発射実験を非難
- モラレ大臣, 天皇誕生日を祝福
- ボツワナ, 米国によるエルサレム首都認定を非難
- マシシ副大統領, 英国を訪問
- ボツワナ, 米国連大使を非難

【経済】

- ボツワナにおける最大の公金スキャンダル
- ボツワナ食肉委員会, ヨーロッパにおいて高品質に係る賞を受賞

【内政】

○ ピラーネ氏, 野党BMD代表に正式就任

野党ボツワナ民主運動党(BMD)は, (BMD分裂の契機となった)7月の党大会をやり直し, 改めて党代表選挙を行った。これによりピラーネ氏が党代表に再選出された他, 党幹事長にモドゥブレ氏, 事務局長にマンハレ氏, 会計局長にバクウェナ氏が選出された。(4日:モニター紙)

○ 難民申請を却下された人々, ジンバブエに逃れる

ボツワナで難民申請を却下された359人のうち260人がジンバブエのトンゴガラ難民キャンプに逃れた。先般, 高等裁判所は, 政府が難民申請者をフランシスタウン不法移民センター(FCII)に監禁していることは違法であるとし, 難民申請者を解放しドゥクウィ難民キャンプに移送するよう判決を下した。しかし, これを不服とするボツワナ政府は控訴裁判所に上告。控訴裁判所が高等裁判所の判決を覆したため, 2日, 政府は難民申請者を難民キャンプからFCIIへ再移送していた。(6日:メヒ紙)

○ ドゥマ・ボコ野党連合代表, ピラーネBMD代表の野党連合参画を歓迎

ドゥマ・ボコ野党連合「民主改革のためのアンブレラ(UDC)」代表は, 野党民主運動党(BMD)代表に正式就任したピラーネ氏をUDC副代表として迎え入れた。2019年の総選挙で, UDCは, 与党ボツワナ民主党(BDP)及びBMDから分裂し新たに結成された新党革新連合党(AP)と戦うことになる。(9日:ウィークエンド・ポスト紙)

○ 与党BDP, 1月に予備選

バロピ与党ボツワナ民主党(BDP)事務局長は, 1月20日にBDP議員が不選出の18選挙区で

予備選を行う旨発表した。BDP議員選出の39選挙区では8月11日に予備選を行う予定。同事務局長は、この他、3月16、17日に党評議会を開催する旨、6月8、9日にBDP特別党大会を開催する旨を発表した。(7日:デイリー・ニュース紙)

○ 電子投票法改正、監査証跡紙を導入

電子投票法の改正により、2019年の総選挙で実施される電子投票に監査証跡紙(VVPAT)が導入されることとなった。これにより有権者の投票が紙に記録され、電子投票結果の監査が可能となる。(14日:メヒ紙)

○ カーマ大統領、退任挨拶ツアーを開始

カーマ大統領は、3月31日の大統領退任を前にして、退任挨拶のためのツアーをモシユパで開始した。今後、カーマ大統領は57選挙区すべてを訪れる予定。カーマ大統領はモシユパでの退任挨拶で、大統領退任後もボツワナ農業大学学長及びピングワト族族長としての任務を継続する旨述べた。(15日:デイリー・ニュース紙)

【外交】

○ ボツワナ、北朝鮮による大陸間弾道ミサイル発射実験を非難

ボツワナ政府はICBM発射実験を繰り返す北朝鮮の継続的な挑発行為を強く非難した。また、ボツワナ政府は、北朝鮮政権の無謀な行為により脅威に晒され続ける韓国と日本の国民に対し団結の意を示し、国際社会が北朝鮮との国交及び通商関係を断絶し同国を孤立させる時に来ている旨強調した。(1日:デイリー・ニュース紙)

○ モラレ大臣、天皇誕生日を祝福

11月30日、モラレ外務国際協力大臣代行は、日本大使公邸にて開催された天皇誕生日祝賀レセプションに出席し、天皇陛下並びに日本国政府及びその国民に向け祝辞を述べた他、新たに着任した竹田大使に対し歓迎の意を述べた。竹田大使は、挨拶の中で、2018年は日本大使館を開設して10周年を迎える記念すべき年であるとして、二国間関係の更なる強化を期待する旨述べた。(4日:デイリー・ニュース紙)

○ 新ナイジェリア高等弁務官の信任状捧呈

新ナイジェリア高等弁務官はカーマ大統領を往訪し信任状を捧呈した。インタビューに対し、ナイジェリア高等弁務官は、ナイジェリアはアフリカ諸国との外交関係を強化しており、ボツワナとは二国間協力文書が未署名なるも、すでに防衛安全保障の面では人的交流が進んでおり、更なる二国間関係の強化を望む旨述べた。(5日:デイリー・ニュース紙)

○ **ボツワナ, 米国によるエルサレム首都認定を非難**

8日, ボツワナ政府は, エルサレムをイスラエル唯一の首都と認定した米国の決定は, エルサレムの帰属問題は二国間交渉により解決すべきであるとする国際社会の方針に逆行するものであるとし, これに遺憾の意を表明すると共に米国にこの決定を見直すよう求めた。(8日: デイリー・ニュース紙)

○ **モハエ前大統領, 南スーダンに和解を促す**

18日, 南スーダン合同監視評価委員会(JMEC)を率いるモハエ・ボツワナ前大統領は, アジスアベバで開催された南スーダン再生ハイレベル会合において, すべての南スーダン指導者・関係者が集い, 持続可能な政治的解決を探り, 暴力を放棄し, 互いに和解に向けた努力を示すよう求めた。(19日: メヒ紙)

○ **マシシ副大統領, 英国を訪問**

16日~23日, マシシ副大統領は英国を訪問した。同副大統領は, コモンウェルス・国連担当大臣及びアフリカ担当大臣と会談し, 投資家との朝食会に出席した他, 下院(庶民院), ケンブリッジ大学, デビアス研究所を訪問した。同訪英にはモラツェヒ国民議会副議長及びツェケディ・ボツワナ投資センター(BITC)CEOが同行した。(19~28日: デイリー・ニュース紙)

○ **ボツワナ, 米国連大使を非難**

(米国によるエルサレム首都認定の撤回を求める国連決議に際して)米国のヘイリー国連大使が「米大統領は米国の意に反する票を投じた国を報告するよう求めており, 米国は投票結果を覚えている」と発言したことに関し, 22日, ボツワナ政府は独立国家としての主権を貶める非常に不適切な発言だとこれを非難した。ボツワナ政府はそのような脅しには屈せず, 自国の外交方針に基づき主権を行使し, エルサレムの帰属問題は交渉により解決するべきであるとする国連決議案に賛成票を投ずる旨強調した。(22日: デイリー・ニュース紙)

【経済】

○ **ボツワナの主要経済指標**

1) **経済成長率(出典: ボツワナ統計局)**

2017年第3四半期の経済成長率は, 前期比6.5%(2017年第2四半期の経済成長率は, 前期比0.4%)。

2) **インフレ率(出典: ボツワナ銀行)**

2017年12月は3.2%(2017年11月は2.9%)。

3) 為替レート(出典: First National Bank of Botswana)

2017年12月29日

1プラ=0.099米ドル

1プラ=1.206南ア・ランド

1プラ=11.22円

2017年11月30日

1プラ=0.094米ドル

1プラ=1.270南ア・ランド

1プラ=10.67円

○ ダイヤモンド産業

1) デビアス社におけるダイヤモンド原石需要は安定

デビアス社の第10期におけるダイヤモンド原石の売上は4億5000万米ドルを記録し、同売上は昨年同時期の売上に比べ6.6%増加した。クリーバー・デビアス社 CEO は、デビアス社の第10期においては、ダイヤモンド原石への需要が引き続き良好であった旨発言した。(13日:メヒ紙)

○ エネルギー・資源

1) BCL グループの Tati ニッケル鉱山運営再開が遅れる見通し

BCL 社の清算人によると、現在生産を停止している BCL グループの Tati ニッケル鉱山の運営を当初予定していた2018年4月には再開できない見通しとなった。Tati ニッケル鉱山の購入に関心がある企業は、2017年12月に購入に係る提案書を BCL 社に提出したが、BCL 社の債権者に相談した結果、BCL 社は同提案書を拒否し、交渉を続けることとなったため、現状では同鉱山の再開の見通しは立っていない。(19日:メヒ紙)

2) Shumba Energy 社、3年間の石炭供給契約を締結

ボツワナ企業 Shumba Energy 社は、3年間の石炭供給契約を締結したと発表した。同契約により、Shumba Energy 社は2万トン以上の石炭を供給する見通し。なお、締結した同契約の相手は公表されていない。(26日:サンデー・スタンダード紙)

○ 3億2600万プラ:ボツワナにおける最大の公金スキャンダル

石油小売企業への返金や石油備蓄施設の建設等に使用される国家石油基金の3億2600万プラを横領した疑いで、著名な実業家であるバカン・セレツェ氏及び他2名が逮捕された。セレツェ氏は、2016年1月から国家石油基金を管理しているKgori Capital社の社長であるが、同社は「今次疑惑は同社とは関係がなく、セレツェ氏が個人として逮捕された」と主張している。(8日:メヒ紙)

○ セレツェ氏、Kgori Capital社を辞職

Kgori Capital社の社長であったセレツェ氏は国家石油基金の横領疑惑を受けて、Kgori Capital社を辞職した。(12日:メヒ紙)

○ **ボツワナ銀行, 基本割引率・基準貸付利率を5.0%に維持**

12月18日, ボツワナ銀行金融政策委員会は, インフレ率が政府目標の3~6%内となっていることを受け, 基本割引率・基準貸付利率(当館注:従来の公定歩合)を5.0%に維持することを決定した。(21日:デイリー・ニュース紙)

○ **ボツワナ食肉委員会, ヨーロッパにおいて高品質に係る賞を受賞**

12月9日, ボツワナ食肉委員会(BMC)は, オーストリアのウイーンにおいて開催されたヨーロッパ品質研究協会の年次総会において, 高品質に係る国際ダイヤモンド賞を受賞した。同賞は, 過去50年に亘り, 牛肉製品の最上級の生産者として努力してきたことに対して与えられたもの。(22日:ボツワナ・ガーディアン紙)